

2007
Jリーグ選手等ホームタウン活動調査

2008年3月27日
社団法人 日本プロサッカーリーグ

目次

■ 概要

リーグ全体傾向分析

- サマリー
- 活動ジャンル別サマリー
- 活動ジャンル(1) (2007年内訳、2006年/2007年比較)
- 活動ジャンル(2) (広報・メディア活動)
- 活動対象者(1) (2007年内訳、2006年/2007年比較)
- 活動対象者(2) (2007年活動ジャンル×対象者、対象者数内訳)
- 活動主催団体(1) (2007年内訳、2006年/2007年比較)
- 活動主催団体(2) (2007年活動ジャンル×主催団体)
- 活動場所 (2007年内訳、2007年活動ジャンル×活動場所)
- 活動月 (2007年活動月、2007年活動ジャンル×活動月)
- 選手活動 (2006年/2007年活動回数分布、活動時間分布)
- 監督・コーチ・社長の活動 (2007年監督・コーチの活動、社長の活動)
- クラブランキング

クラブ別傾向分析

- コンサドーレ札幌
- ベガルタ仙台
- モンテディオ山形
- 鹿島アントラーズ
- 水戸ホーリーホック
- ザスパ草津
- 浦和レッズ
- 大宮アルディージャ
- ジェフユナイテッド千葉
- 柏レイソル
- FC東京
- 東京ヴェルディ
- 川崎フロンターレ
- 横浜F・マリノス
- 横浜FC
- 湘南ベルマーレ
- ヴァンフォーレ甲府
- アルビレックス新潟
- 清水エスパルス
- ジュビロ磐田
- 名古屋グランパス
- 京都サンガF.C.
- ガンバ大阪
- セレッソ大阪
- ヴィッセル神戸
- サンフレッチェ広島
- 徳島ヴォルティス
- 愛媛FC
- アビスパ福岡
- サガン鳥栖
- 大分トリニータ

概要

■ 目的など

- ・ 選手のホームタウン活動への参加状況を選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・ クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・ 欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

■ 調査対象

- ・ 2007年シーズンJ1/J2所属の31クラブによる、選手、監督・コーチ、社長(理事長)が参加したホームタウン活動
*ただし、2008年3月17日時点の回収したデータで、通年のデータがないクラブが一部含まれる。

■ 調査方法

- ・ 2007年1月～12月に行われたホームタウン活動について、4期に分けて各クラブのホームタウン担当がアンケート入力
- ・ 質問項目
①名称・活動内容 ②開催場所 ③開催時期 ④開催状況(終了/実施中/予定) ⑤開催回数 ⑥クラブ参加者・人数
(選手・監督/コーチ・社長) ⑦参加者人数計 ⑧対象者区分・人数 ⑨活動主体 ⑩主な協力団体・分類 ⑪各選手活動時間

■ 留意点

- ・ 広報/メディア活動について、特に日常的なメディア対応、定期的な応援番組等の出演はクラブ間の報告有無・回数に大きな差があったため分析上、別集計を行っている。
- ・ 全体の傾向分析(P4「活動ジャンル別サマリー」～P12「活動月」)については、選手もしくは監督・コーチが参加した活動を対象にしている。社長が行った活動はP14でまとめている。
- ・ 2006年は、アンケート対象期間を各クラブの年度区切りとし、統一していなかったため2007年と必ずしも期間は一致するものではない。

リーグ全体傾向分析

サマリー

□…未提出クラブがあるため参考値

31クラブデータ

■選手/監督・コーチ総活動数： 1,462回/年
(2006年:1,275回)

■参加選手総数： 988人/1,019人
(2006年:971人)

□1クラブ平均総活動数： 47.2回/年、3.9回/月

■選手延べ活動時間： 13,259.0時間
(2006年:11,877.9時間)

■社長活動数： 370回/年
(1クラブ平均 11.9回/年)
※2006年データなし

□選手平均活動数： 7.6回/年

□選手平均活動時間： 13.0時間/年

28クラブデータ

*札幌、千葉、神戸を除く

□選手/監督・コーチ総活動数： 1,405回/年

□参加選手総数： 883人/913人

■1クラブ平均総活動数： 50.2回/年、4.2回/月
(2006年 41.1回/年、3.4回/月)

□選手延べ活動時間： 12,656.7時間

□社長活動数： 320回/年
(平均 11.4回/年)

■選手平均活動数： 8.2回/年
(2006年:6.0回)

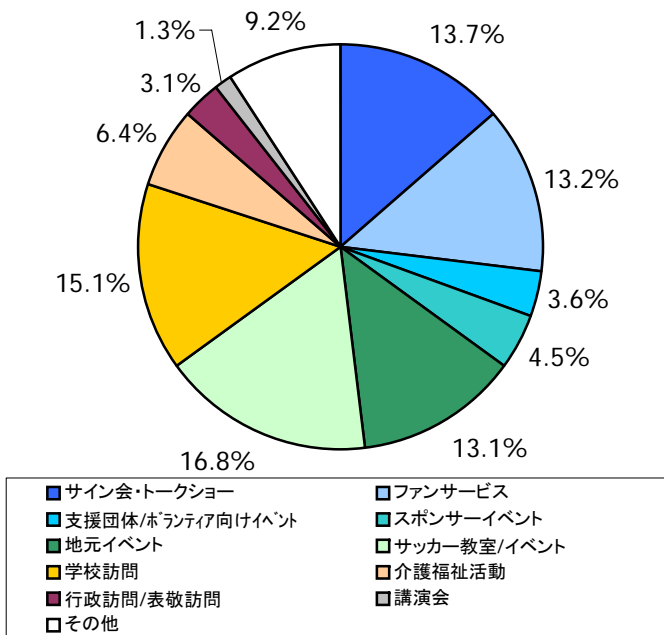
■選手平均活動時間： 13.9時間/年
(2006年:11.9時間/年)

活動ジャンル別サマリー

<p>サイン会・トークショー (13.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファン/サポーターを対象にしたものが半数以上。不特定の人や地域住民対象にも開催している。 ・クラブ主体で行うものが半数以上で、スポンサーや地元企業の主催で行うものが約1/3。 ・主にスタジアムや街頭/商業施設で行われている。 ・年間通じて実施。4月、8月、9月の開催が最も多い。 	<p>ファンサービス (13.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より活動回数は大きく増えている。 ・一部スポンサーが主催するものも含むが、大半がクラブ主催の活動。 ・6割がスタジアムで行う活動で、その他クラブ施設や街頭/商業施設を利用して実施している。 ・年間を通じて実施していて、オフ期間も活動数は多い。 	<p>支援団体/ボランティア向けイベント (3.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年報告数が増えて、昨年の3倍近くの活動数になっている。 ・後援会自ら主催するものとクラブ主催のものが半分以上ある。 ・ホテルやレストラン、公民館等で実施している活動が多い。 ・シーズン開幕前、閉幕後の開催が多い。
<p>スポンサーイベント (4.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の2倍以上に増加。 ・3/4はクラブが主催するものだが、残り1/4はスポンサー自身が主催している。 ・スタジアムで行うものと、ホテルや一般の会議室等を利用したものがある。 ・シーズン開幕前の2月の開催が最も多い。 	<p>地元イベント (13.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民または不特定の人を対象にした活動が多い。 ・行政が主催するものが4割、自治会・商店街、もしくはスポンサーが主催するものがそれぞれ2割となっている。 ・街頭/商業施設で行われるものが半数で、2割はスポーツ施設/公園で行われている。 ・8月、10月、7月の順で開催回数が多い。 ・社長の活動参加が最も多い。 	<p>サッカー教室/イベント (16.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動比率は最も高く、全クラブ実施。 ・6割以上が小学生以下の児童を対象にしており、その保護者や地域住民を対象としたものもある。 ・1/3がクラブ自ら主催するもので、次に多いのがスポンサー主催のもの。行政や地元FAが主催する活動も多い。 ・半数近くがスポーツ施設/公園で実施するもので、スタジアムで行うのは1/4程度。 ・年間通じて活動数は多く、特に5月、7月～9月が多い。
<p>学校訪問 (15.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動比率は2番目に高い。 ・9割以上が小学生以下の児童を対象とした活動で、幼稚園への訪問も含まれる。 ・クラブが主体となって行っている活動が多いが、行政(教育委員会)や学校の協力を得て実施している。 ・活動が多いのは1月、5月～7月、10月、11月。 ・監督・コーチの活動参加が最も多いのが学校訪問。 	<p>介護福祉活動 (6.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より活動数は大きく伸びている。 ・半数は高齢者や障害者を対象とした活動で、養護学校の生徒など小学生以下の児童対象の活動も多い。 ・クラブが主催する活動が7割以上。福祉団体が主催する活動もある。 ・半数以上が福祉施設や病院で行われるが、スタジアムを使った活動も1/4程度ある。 ・1月と7月～9月の実施回数が多い。 	<p>行政訪問/表敬訪問 (3.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より活動数は伸びている。 ・対象は知事・市長、行政職員などを対象としたものが最も多い。 ・スポンサーへの表敬訪問に選手が参加するクラブもある。 ・クラブ自らが行っている。 ・1月、2月に多い。

活動ジャンル（1）

◆2007年 内訳



・最も多い活動は、「サッカー教室/サッカーイベント」で、次に「学校訪問」が続く。

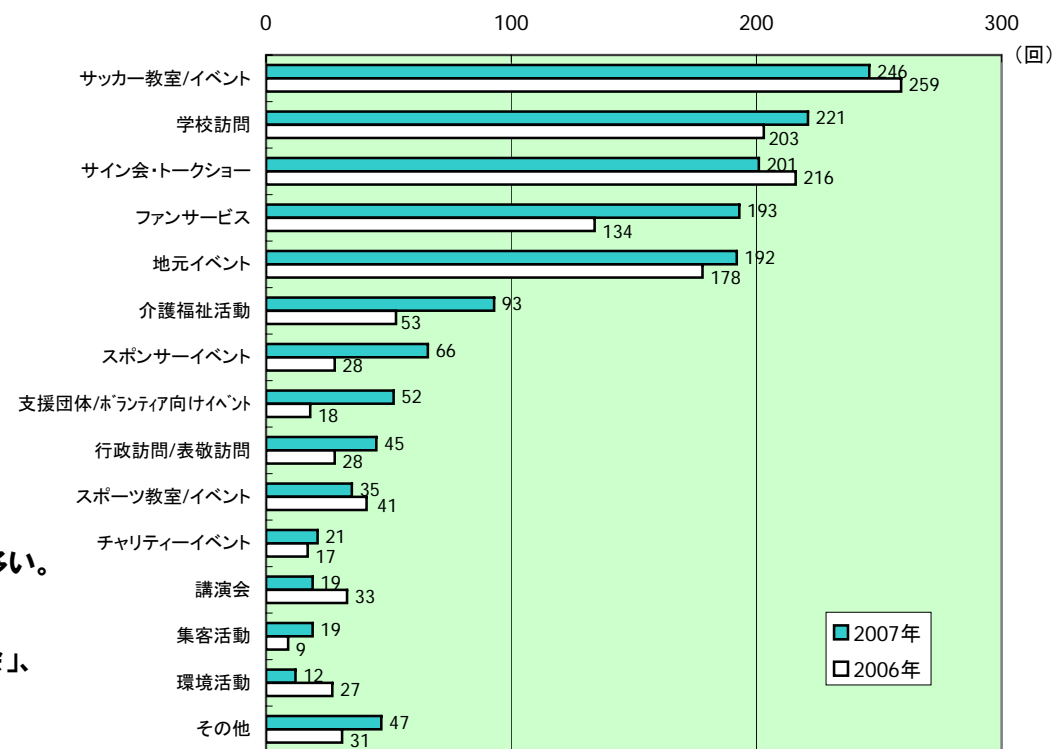
・「サイン会/トークショー」や「ファンサービス」、「地元イベント」も多い。

・「その他」には、チャリティー活動、環境活動、集客活動のほか「必勝祈願」や「会議出席」、「総合学習受け入れ」、「映画試写会」、「商店街紹介活動」なども含まれる。

◆2006年/2007年比較

・活動ジャンル別に06年と活動数を比較すると、増加傾向にあるものも多く、特に大幅に増えているのは「ファンサービス」、「介護福祉活動」、「スポンサーイベント」、「支援団体/ボランティア向けイベント」、「集客活動」も増えている。

・逆に06年に比べてわずかではあるものの減少傾向にあるのは、「サッカー教室/サッカーイベント」、「サイン会/トークショー」、「講演会」、「環境活動」。



活動ジャンル（2）

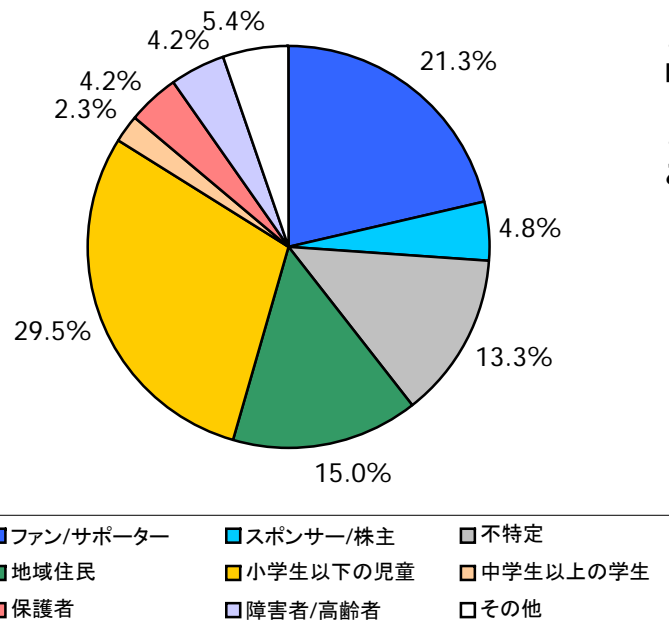
◆2007年 広報・メディア関連活動内訳

広報・メディア関連の活動報告クラブは以下のとおり

クラブ	名称/活動内容	活動回数 (回)	クラブ参加状況		
			選手 (人)	監督・コーチ (人)	選手 延べ活動時間 (時間)
札幌	月刊コンサドーレ インタビュー	2	1	1	1.0
	沖縄キャンプ取材「イチオシ」	1	20		10.0
	Jリーグナイト キャンプ取材	1	5	1	3.0
	J's出版 三浦監督インタビュー	1		1	-
	HBC キャンプ取材	1	3		1.5
	NHK北海道 キャンプ取材	2	4	1	1.5
	開幕前選手TV出演 (HBC、UHB)	3	5		10.0
	アルキタ 芳賀インタビュー	1	1		1.0
鹿島	ライブフリークス公開取材	7	7		15.0
磐田	ユニカミノルタ撮影会	1	1		2.0
G大阪	テレビ/ラジオの応援番組等の出演	86	27	1	40.0
	新聞/雑誌の取材対応	124	36	1	58.5
	クラブ広報誌の取材対応	22	19		11.0
広島	安芸高田市観光紹介PV	1	2	6	6.0
愛媛	南海放送ラジオ「真昼間のシンデレラスペシャル 頑張れ!愛媛FC」	2	8		11.0
	地球温暖化CM 撮影	1	5	1	2.5

活動対象者（1）

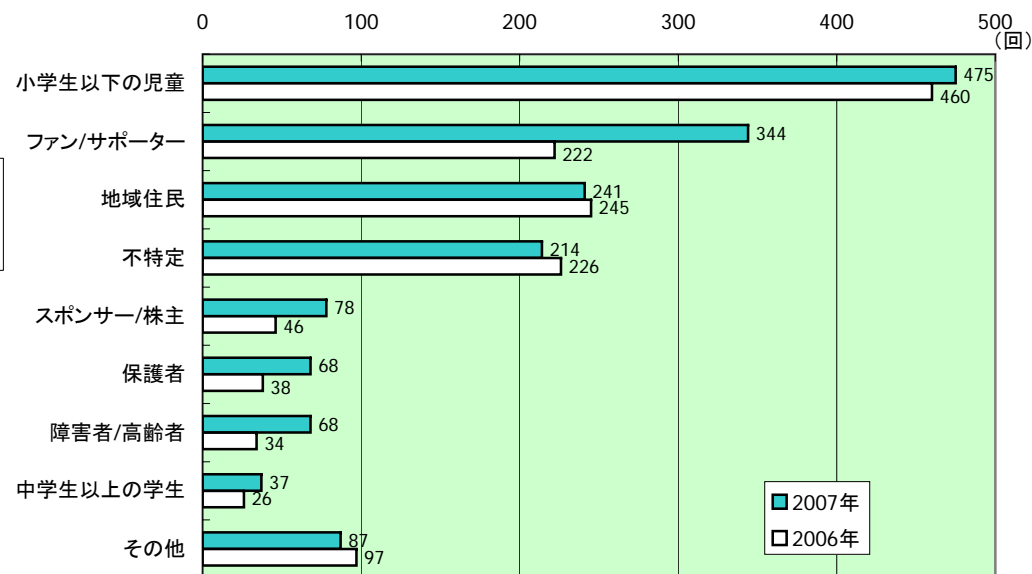
◆2007年 内訳



- 最も多い活動対象者は「小学生以下の児童」で約3割。
- 次に「ファン/サポーター」、「地域住民」と続く。
- 「その他」に多く含まれるのは、知事や市長、職員などの行政関係者。指導者も含まれる。

◆2006年/2007年比較

- 06年と比較して、大きく増えているのは「ファン/サポーター」、「スポンサー/株主」、「保護者」、「障害者/高齢者」、「中学生以上の学生」も増えている。
- 逆に06年に比べて若干減少しているのは「地域住民」、「不特定」の人。これは、「地域住民」や「不特定」がより明確に特定して回答された可能性もある。



活動対象者（2）

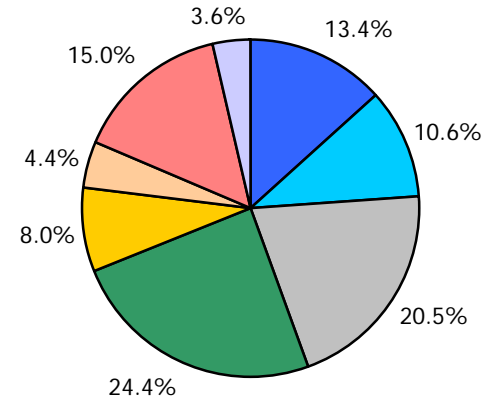
◆2007年 活動ジャンル×対象者

- ・「サイン会/トークショー」や「ファンサービス」は主に「ファン/サポーター」を対象とした活動で、「不特定」の人も対象に含まれる。
- ・「サッカー教室/サッカーイベント」は「小学生以下の児童」を対象にしたものが最も多く、同時にその「保護者」も対象に含まれている。
- ・「学校訪問」も「小学生以下の児童」が対象。
- ・「介護福祉活動」は「小学生以下の児童(養護学校の児童)」と「高齢者」が対象になる。

(回)

活動ジャンル	ファン/サポーター	スポンサー/株主	不特定	地域住民	小学生以下の児童	中学生以上の学生	保護者	障害者/高齢者	行政	職員/指導者	その他	総計
サイン会/トークショー	122	1	58	23	1		10				1	216
ファンサービス	150		32	9	4	1	2				2	200
支援団体/ボランティア向けイベント	37	1	2	6					1		6	53
スポンサーイベント	1	65								1		67
地元イベント	6	1	60	114	11	4	6		2		3	207
サッカー教室/イベント	9	1	12	26	184	11	35	2		6	3	289
スポーツ教室/イベント	1		5	11	12		4	4		2	1	40
学校訪問			1		201	9	9				11	231
介護福祉活動	1		2	3	47	2	62			3	3	123
行政訪問/表敬訪問		9	2	10					24	4	2	51
講演会			3	6	1	3	1			4	3	21
チャリティーイベント	10		6	5								21
環境活動	3		5	5	1							14
集客活動	1		14	3					1	1		20
その他	3		12	20	3	7	1		1		2	49
総計	344	78	214	241	465	37	68	68	29	32	26	1,602

◆2007年 対象者数内訳



・「101～300人」規模の活動が最も多く、「51～100人」を対象にしたものも多い。

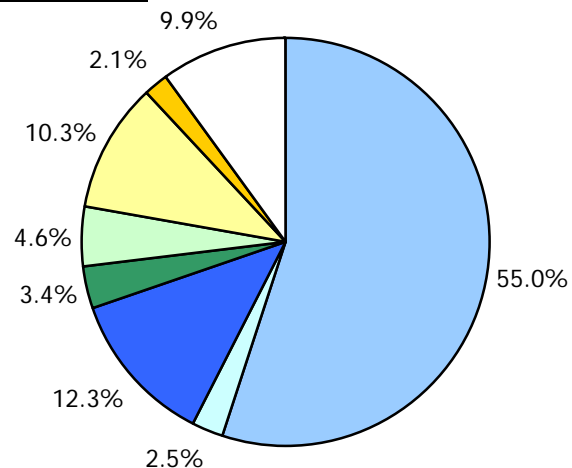
・「1～30人」対象の活動は、「介護福祉活動」や「行政訪問/表敬訪問」の比率が高い。

・「1,001人～」の活動は、スタジアムでの「ファンサービス」や「地元イベント」の比率が高い。

*1つの活動について対象者は2つまで入力可能なため、対象者の総計は合計活動数を上回る。

活動主催団体（1）

◆2007年 内訳



・クラブが主体となる活動が全体の半数以上を占めている。

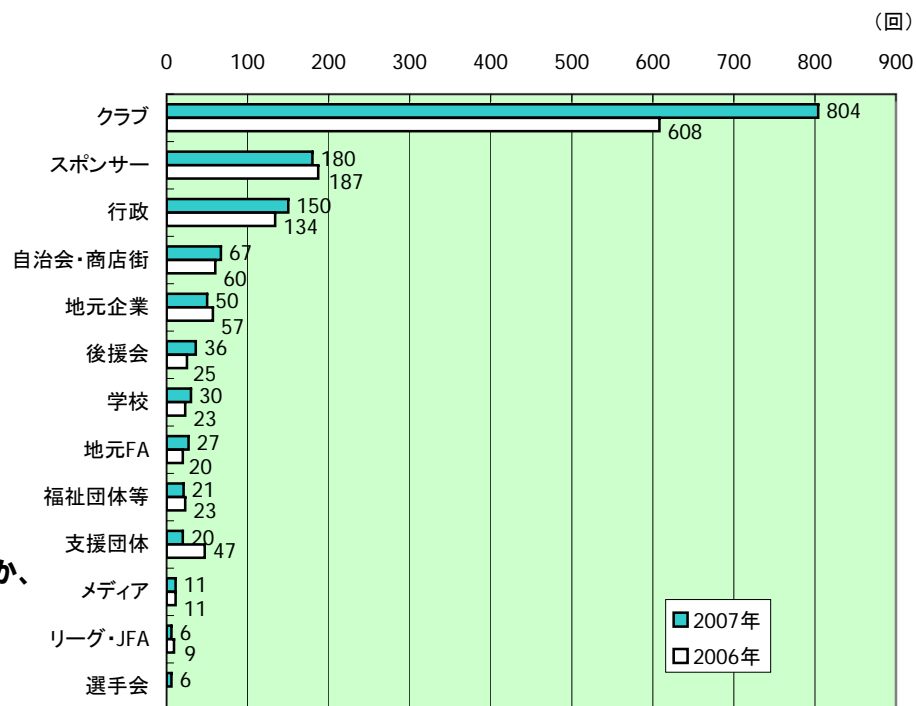
・その他の協力団体では、「スポンサー」が最も多く全体の1割強。「行政」による活動も1割を超える。

・「その他」には、地元FAや福祉関係、メディア、リーグ・JFAのほか、「サポーター」や「NPO法人」、「病院」、「神社」、地元イベントの「実行委員会」などが含まれる。

◆2006年/2007年比較

・07年はクラブが主体となる活動数が増えているが、この伸び数は、全体の活動増とほぼ等しく、その他の団体が主催する活動の数はほぼ変わらない。

・06年よりも主催の活動数が若干減少しているのは、「スポンサー」、「地元企業」、「支援団体」等。



活動主催団体（２）

◆2007年 活動ジャンル×主催団体

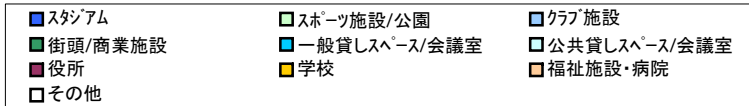
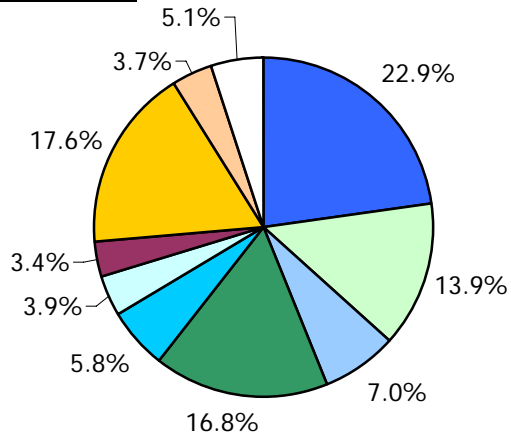
- ・「地元イベント」、「講演会」を除く活動は、主催が「クラブ」が最も多い。
- ・「地元イベント」は「行政」が主催する活動が最も多く、「スポンサー」や「自治会/商店街」が主催するものも多い。
- ・「スポンサー」の主催による「サイン会/ファンサービス」、「サッカー教室/サッカーイベント」も多い。
- ・「学校訪問」はクラブが主催するもの以外は「行政(教育委員会)」と「学校」に分かれる。

(回)

主催団体	クラブ	後援会	スポンサー	地元企業	自治会・商店街	行政	学校	地元FA	福祉団体等	その他	総計
サイン会/トークショー	114	1	45	20	8	4		1		8	201
ファンサービス	170	1	10	4	2	1	1			4	193
支援団体/ボランティア向けイベント	23	26				1				2	52
スポンサーイベント	47	1	16							2	66
地元イベント	1	4	38	14	34	75	3		1	22	192
サッカー教室/イベント	83	3	59	4	4	33	2	24	2	32	246
スポーツ教室/イベント	9		3	1		11		1		10	35
学校訪問	184					13	20	1		3	221
介護福祉活動	67			2	2	2	1		14	5	93
行政訪問/表敬訪問	43		1		1						45
講演会			3	4	1	4	3		1	3	19
チャリティーイベント	15		1	1					3	1	21
環境活動	7		1			3				1	12
集客活動	17				1					1	19
その他	24		3		14	3				3	47
総計	804	36	180	50	67	150	30	27	21	97	1,462

活動場所

◆2007年 内訳



・「スタジアム」での活動が最も多く、全体の約1/4を占める。

・次に多いのが「学校」、「街頭/商業施設」、「スポーツ施設/公園」で行う活動。

・オフィシャルショップ、練習場、クラブハウスなど「クラブ施設」を活用した活動は約7%。

・「その他」の場所には、企業や神社、河川敷などが含まれる。

◆2007年 活動ジャンル×活動場所

・「サイン会/トークショー」や「ファンサービス」は「スタジアム」で行うものが最も多く、「街頭/商業施設」で行う活動も多い。

・「支援団体/ボランティア向けイベント」、「スポンサーイベント」はホテルなど「一般の貸しスペース」を使った活動が多い。

・「地元イベント」の多くは「街頭/商業施設」で行われるもので、「スポーツ施設/公園」で行われるものも多数ある。

・「サッカー教室/イベント」は「スポーツ施設/公園」で行うことが最も多く、「スタジアム」、「クラブ施設」が続く。

(回)

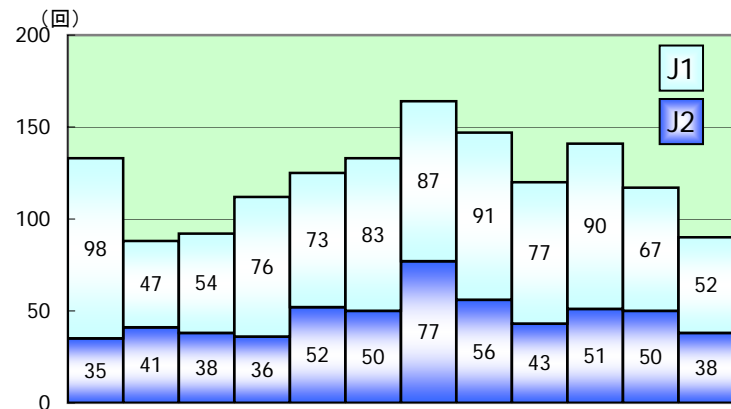
活動ジャンル	クラブ施設	スタジアム	スポーツ施設/公園	一般貸しスペース/会議室	街頭/商業施設	学校	公共貸しスペース/会議室	福祉施設・病院	役所	その他	総計
サイン会/トークショー	26	82	6	5	70	1	6			5	201
ファンサービス	25	106	6	15	26	3	8		2	2	193
支援団体/ボランティア向けイベント	1	6		23	6		13		1	2	52
スポンサーイベント	2	23	2	23	1					15	66
地元イベント	2	5	37	9	89	5	16		9	20	192
サッカー教室/イベント	36	61	115	4	4	17	4		1	4	246
スポーツ教室/イベント	3	9	22				1				35
学校訪問						221					221
介護福祉活動	1	26	7	1	1	2	1	54			93
行政訪問/表敬訪問					3				33	9	45
講演会			1	3		6	6		1	2	19
チャリティーイベント		13	4		3					1	21
環境活動		1			9					2	12
集客活動			1		17				1		19
その他	7	3	2	2	16	2	2		1	12	47
総計	103	335	203	85	245	257	57	54	49	74	1,462

活動月

* 2007年4月-12月未提出1クラブ、7月-12月未提出2クラブのデータを含むため未提出期間のデータは参考値

◆2007年 活動月

- ・活動が最も多いのは7月～8月の夏休み期間と10月。
- ・シーズンが開幕する3月と直前の2月は活動が少ない。(特にJ1)
- ・シーズン終了～直後の12月も活動が減る。
- ・1月はJ1とJ2で大きく活動数に差が開いている。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
J1			3/3(土)～				(中 断)					● 12/5.8 大喜戦
J2			3/3(土)～									
ナビスコカップ			【予選リーグ】 ● 3/21～	● 5/23			【準々決勝】 ● 7/7～14			【準決勝】 ● 10/10～	【決勝】 ● 11/3	
その他	【ゼロロックスカップ】 ● 2/24						【JOMOオールスター】 ● 8/4					

◆2007年 活動ジャンル×活動月

活動月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
活動ジャンル													
サイン会/トークショー	3	3	21	28	18	18	14	24	28	21	14	9	201
ファンサービス	15	16	20	14	18	16	21	15	16	14	10	18	193
支援団体/ボランティア向けイベント	9	6	2	3	0	2	7	1	4	4	4	10	52
スポンサーイベント	3	13	4	5	3	5	7	7	5	4	3	7	66
地元イベント	10	6	8	12	14	10	26	39	8	32	18	9	192
サッカー教室/サッカーイベント	16	10	16	16	28	19	28	35	24	18	21	15	246
スポーツ教室/スポーツイベント	5	0	1	1	1	4	1	3	7	7	1	4	35
学校訪問	25	4	2	10	27	37	41	1	13	28	27	6	221
介護福祉活動	11	2	6	7	5	9	11	13	10	6	7	6	93
行政訪問/表敬訪問	16	18	1	0	1	0	0	0	1	0	2	6	45
講演会	2	1	1	1	1	1	4	0	1	2	5	0	19
チャリティーイベント	3	0	4	4	2	0	1	5	0	1	1	0	21
環境活動	0	1	0	2	0	6	1	1	0	1	0	0	12
集客活動	0	4	1	5	4	0	1	0	2	1	1	0	19
その他	15	4	5	4	3	6	1	3	1	2	3	0	47
総計	133	88	92	112	125	133	164	147	120	141	117	90	1,462

・「サイン会/トークショー」や「ファンサービス」は年間を通じて行われているものの、「サイン会/トークショー」は4月、8月、9月がピーク。

・「地元イベント」や「サッカー教室/イベント」が最も多いのも8月。

・「支援団体/ボランティア向けイベント」はシーズン開幕前、閉幕後に行われることが多く、「行政訪問/表敬訪問」はシーズン開幕前に行われる。

・「学校訪問」は1月、5月～7月、10月・11月の開催が多い。

・「介護福祉活動」も7月～9月の夏場がピーク。

選手活動

* 2007年4月-12月未提出1クラブ、7月-12月未提出2クラブのデータを含むため、回数・時間平均は参考値

◆2006年/2007年 活動回数分布

・選手1人ひとりの活動回数のピークは、06年の5-6回から07年は3-4回に減少したものの、9回以上活動している選手の数は昨年より増えている。

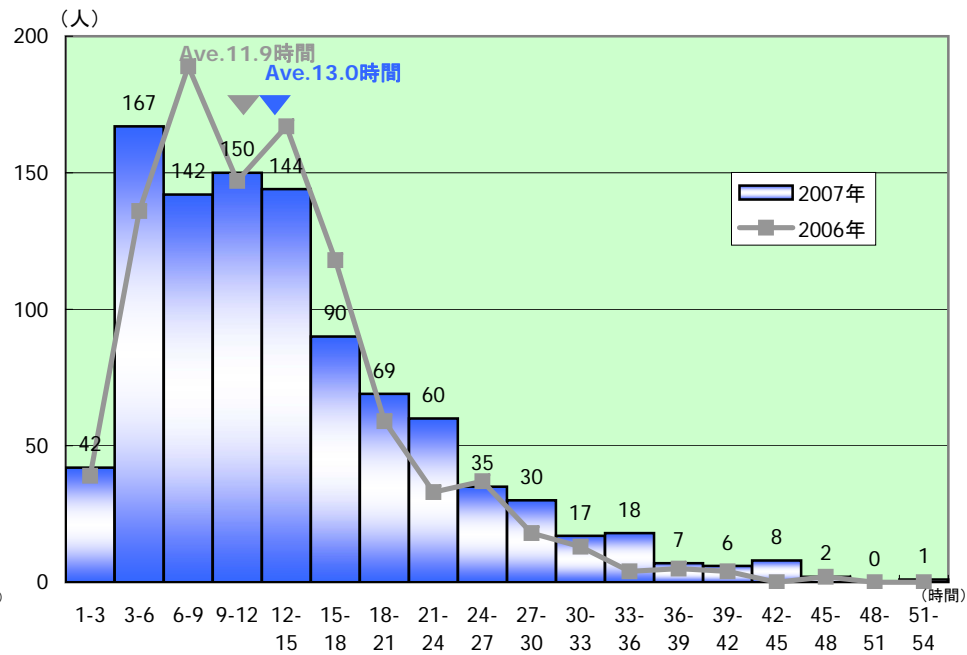
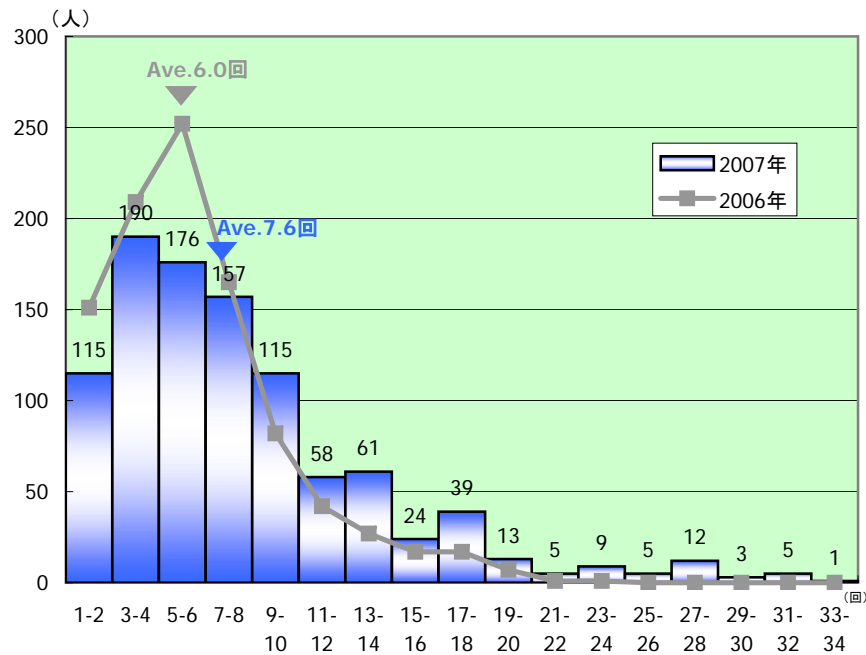
・その結果、平均活動回数は6.0回から7.6回に伸びている。

◆2006年/2007年 活動時間分布

・活動時間について、06年は6-9時間をピークに12-15時間も多かったが、07年は3-6時間がピーク。次いで6-9時間、9-12時間、12-15時間が多い。

・平均活動時間は11.9時間から13.0時間に増えている。

・最も多い選手は51時間以上の活動を行っている。



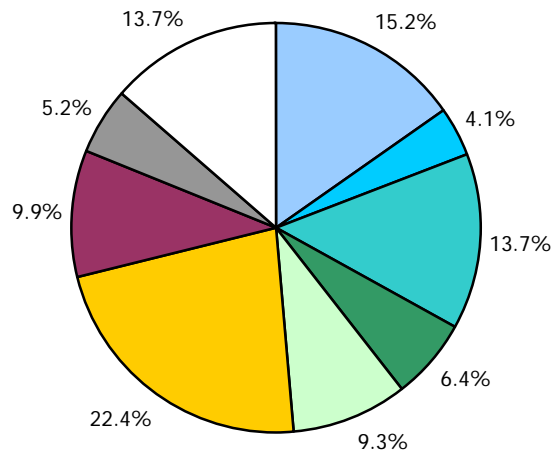
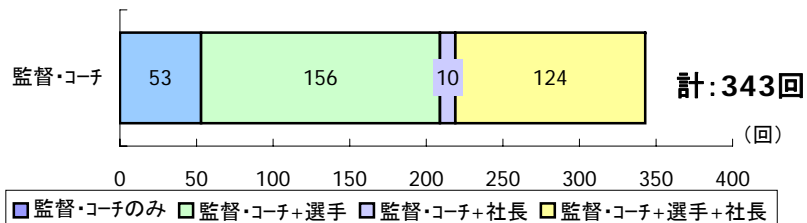
監督・コーチ/社長の活動

◆2007年 監督・コーチの活動

・監督・コーチが単独で活動するのは、全体の約15%で、大半は選手と、もしくは選手・社長と一緒にの活動である。

・最も多いのは「学校訪問」で全体の約1/4。次に多いのは、「ファンサービス」や「スポンサーイベント」。

・監督・コーチが単独で活動しているクラブは21クラブで、そのうち9クラブの監督が講演を行っている。

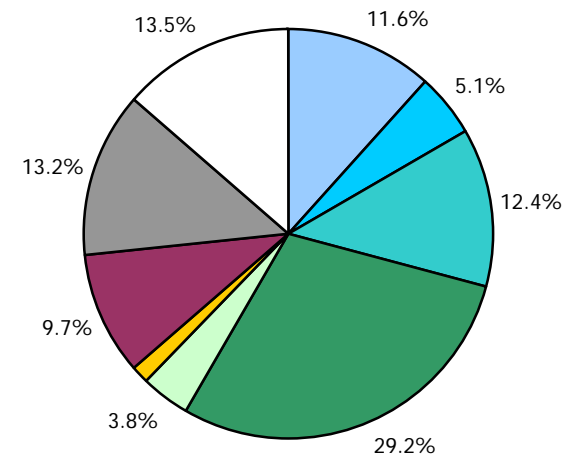
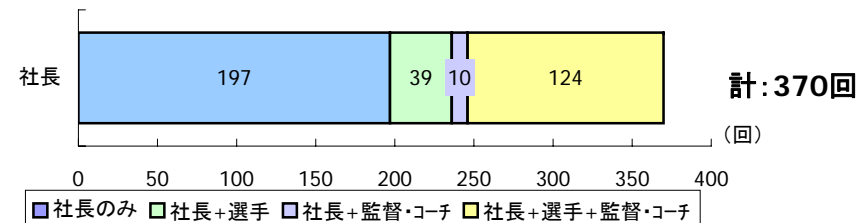


◆2007年 社長の活動

・社長は単独で活動するケースが半数以上あり、残りの大半は選手+監督・コーチと一緒にの活動である。

・最も多いのは、「地元イベント」への参加で、ロータリークラブや各種委員会への参加も含まれる。

・また、「講演会」や「行政訪問/表敬訪問」といった活動も多い。



クラブランキング

◆活動増加率

...2006年/2007年の選手・監督・コーチの活動数を比較

- ① **C大阪** (318%)
- ② **鹿島** (300%)
- ③ **F東京** (285%)

◆延べ選手参加人数

...2007年に参加した選手の延べ数

- ① **G大阪** (690人)
- ② **京都** (668人)
- ③ **鹿島** (495人)

◆選手平均活動時間

...選手1人当たりの年間平均活動時間

- ① **鹿島** (38.6時間)
- ② **G大阪** (27.8時間)
- ③ **京都** (22.2時間)

◆上位選手の平均出場時間

...活動時間上位10選手の1試合平均出場時間

- ① **京都** (44分31秒)
- ② **広島** (38分56秒)
- ③ **川崎** (37分57秒)

◆1つの活動の平均起用選手数

...延べ選手参加人数を監督・コーチ/社長単独の活動を除く活動数で割ったもの

- ① **浦和** (11.1人)
- ② **甲府** (8.5人)
- ③ **京都** (8.4人)

◆監督・コーチ/社長の活動数

監督・コーチ

- ① **鹿島** (88回)
- ② **京都** (33回)
- ③ **草津** (24回)

社長

- ① **川崎** (49回)
- ② **京都** (38回)
- ③ **浦和** (33回)

◆クラブ主催/その他主催比率

クラブ主催

- ① **鹿島** (87.3%)
- ② **湘南** (80.3%)
- ③ **磐田** (78.2%)

その他主催

- ① **徳島** (79.3%)
- ② **水戸** (78.9%)
- ③ **福岡** (75.8%)

クラブ別傾向分析

クラブ名

<選手、監督・コーチの活動>

総活動数: 回

総活動時間: 時間

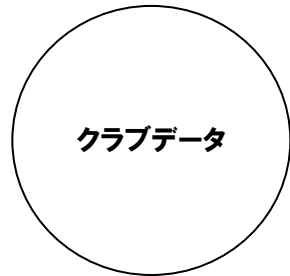
<社長の活動>

総活動数: 回

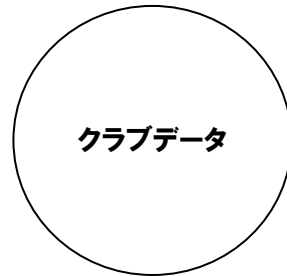
28クラブ平均
ave.47.2(回)
ave.430.3(時間)
ave.12.1(回)

クラブの選手、監督・コーチ、社長のホームタウン活動に関する総括コメント

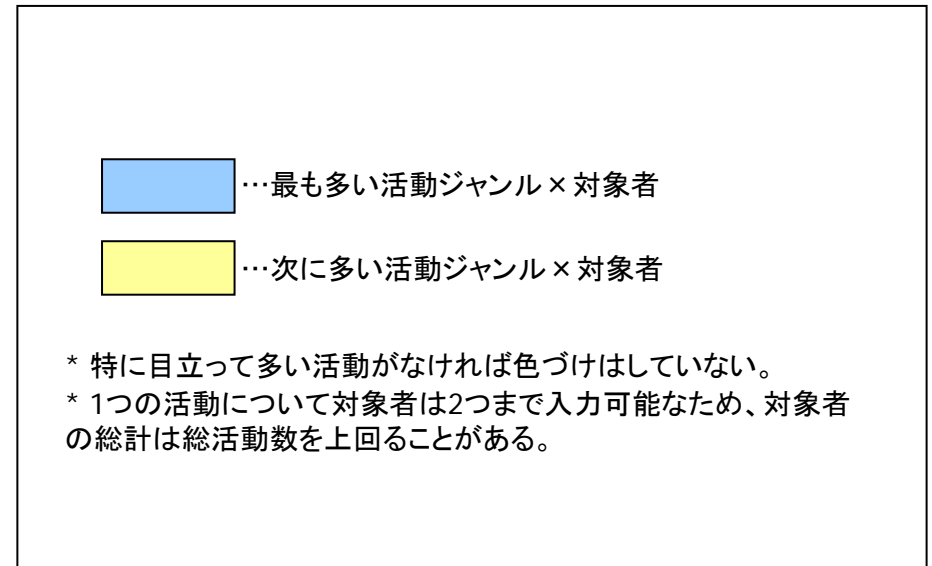
活動ジャンル (回数比率)



対象者 (回数比率)

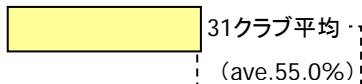


活動ジャンル×対象者 (回数)



活動主体/協力団体

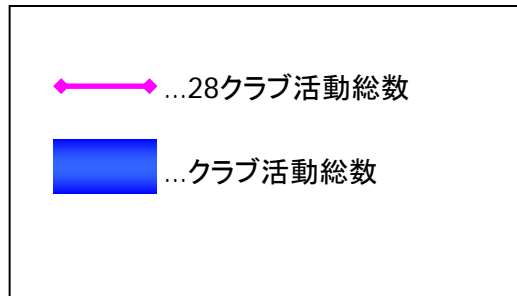
◆クラブ主催率



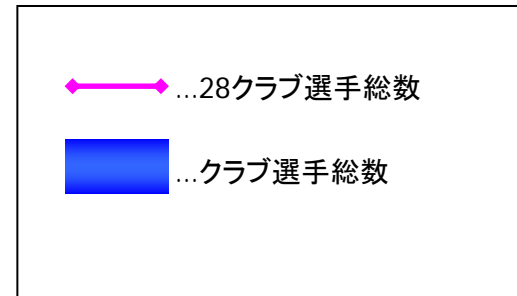
◆他主催団体TOP3

主要な協力団体とクラブ主足の活動を含めた比率

活動月 (回数)



活動時間 (人)



選手ランキング

年齢:2007年12月31日時点
平均出場時間:2007年の合計出場時間を試合数(J1:34、J2:48)で割った時間

25歳以上
出場時間60分以上

20歳以下
出場時間10分未満